



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/8号 2018/11/21

12月のSSH事業のお知らせ

- ・アメリカ研修（2年数理探究科）
期 間 12月2日（日）～9日（日）
研修先 Green Valley High School
グランドキャニオン 他
内 容
① 現地高校にて
課題研究発表（英語）
授業参加・ディスカッション
② グランドキャニオン研修
地質と植生等の観察
- ・家政科訪問研修（1年家政科）
期 日 12月5日（水）
研修先 長崎県農林技術開発センター
長工醤油味噌協同組合大村工場
内 容 講義・実習と施設見学
- ・数理探究科訪問研修（1年数理探究科）
期 日 12月7日（金）
研修先 海洋エネルギー研究センター
内 容 実習・講義と施設見学

◆大村視てあるき（第1学年）

10月26日（金）、第1学年全生徒を対象に、「大村視てあるき」を開催しました。

これは身近な自然や地域を学びの場とし、身の回りの事象を科学的・多角的に捉えることを通じて、「問題に気づく力の育成」や「探究の基本を学ぶ」ためのものです。

数理探究科は、1日かけて大村の地質・自然についての講義と巡検を行いました。普通科・家政科はグループに分かれ、午前中は研究所や事業所の訪問研修、午後は各学級に戻り、自身の振り返りと、小グループに分かれ、午前中の研修報告を4コマプレゼンの形式で行い、「伝え合う力」を高める活動に取り組みました。



□校外での研修概要

・グループA：地学研修

- 講師 阪口 和則 氏（長崎県地学会会長）
内容 ①講義：大村の地形と地質
②巡検：地層観察、たまねぎ状風化観察など

・グループB、C、E：訪問研修

- 内容 課題探究のテーマをもとに小グループを編成し各グループが1～2事業所を訪問
訪問先 県環境保健研究センター、県工業技術センター
県建設技術研究センター、オムロプリント
日特エンジニアリング、ツジデン、ナカガワ
SUMCO TECHXIV、市浄水管理センター
九州教具、市観光コンベンションセンター
市国際交流プラザ、市少年センター、貞松病院
おおむらケーブルテレビ、大村警察署

・グループD：運動生理学研修

- 講師 上内 翔太 氏（県立総合体育館専門指導員）
内容 ①講義（スポーツ科学について）
②校外活動

□校内での振り返り（普通科・家政科）

午後からは、クラスに戻り振り返りとミニ報告会を行いました。

【ねらい：伝え合う力の基礎づくり】

- まとめる力、表現する力
- 恥ずかしがらずに話す力
- 相手が聞きやすいように話す力
- 相手の話を理解し自分の中に取り込む力

【方法】

6名程度の班をつくり、1人ひとりが他の班員に向けて自分が学んだことを、4コマプレゼンにまとめ報告



写真 左：メモをもとに振り返りシートを記入
右：4コマプレゼン風景